

A R C H I T E C T U R E

D E S I G N

C O N C O U R S

2 0 0 0

ARCHITECTURE DESIGN CONCOURS 2000

●主催/北海道・(社)日本建築家協会北海道支部・(社)北海道建築士事務所協会・(社)北海道建築士会

平成12年度

高校生建築デザインコンクール

課題/津軽海峡を望むロマンの丘に建つあずまや(休憩所)

ARCHITECTURE DESIGN CONCOURS 2000

ごあいさつ

公共建築物には、安全性や快適性の確保をはじめ、社会の多様なニーズにきめ細かく対応するコミュニティの交流拠点として、地域の人々にゆとりと潤いを与え、広く親しまれる地域のシンボルとしての役割を担うことが求められています。

北海道では、地域に親しまれる公共建築物づくりを進めるため、平成8年度から高校生建築デザインコンクールを実施し、将来を担う建築技術者をめざす道内の工業高校生を対象に広くユニークなアイデアを募集し、その提案を道のさまざまな施設の設計に取り入れて参りました。

今年度は、(社)日本建築家協会北海道支部、(社)北海道建築士事務所協会、(社)北海道建築士会との共催によりデザインコンクールを実施したところ、全道から個性豊かな作品が数多く寄せられました。

このようなコンクールを通して、公共建築物づくりに参加することは、建築を志す多くの学生の皆様にとって勉学の励みとなり、将来の建築技術者の育成に大きく貢献するものと期待しております。

北海道におきましては、この度選定された最優秀作品の設計主旨を踏まえ、提案されたデザイン等を実施設計に取り込み、道民の皆様が親しまれる施設づくりをより一層を進めて参りたいと考えております。

終わりに、今回のコンクールの実施にあたり、各高等学校をはじめ、関係機関の皆様には多大なご協力を賜り厚くお礼申し上げますとともに、ご応募いただいた皆様の今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。

平成13年2月

北海道建設部長

相馬 秋夫

M E S S A G E

建築デザインコンクールの概要

- 課題／津軽海峡を望むロマンの丘に建つあずまや(休憩所)
- 応募資格／北海道内の建築系学科が設置されている工業高校に在籍する高校生で個人又は3名以下のグループ
- 提出図面／JIS規格A2判(420×594mm)1枚片面に下記の全ての図面を描く
 - 設計主旨 ●配置図・平面図(1/50) ●断面図(1/50)
 - 立面図(1/50) ●スケッチ ●建築概要
- 応募総数／59作品
- 審査経過／●第1回選定委員会：平成12年6月19日
 - 募集要項配付：平成12年6月27日
 - 作品受付：平成12年9月18日～22日
 - 第2回選定委員会：平成12年11月2日
- 選定委員／委員長 **三浦久志** 北海道建設部建築整備室建築課長
 - 委員 **昆野 茂** 北海道教育庁生涯学習部高校教育課産業教育指導班指導主事
 - 委員 **片桐久司** 北海道建設部建築指導課長
 - 委員 **若林典之** 北海道建設部公園下水道課長
 - 委員 **神原一雄** 北海道函館土木現業所企画総務部企画調整室長
 - 委員 **鈴木敏司** (社)日本建築家協会北海道支部副支部長
 - 委員 **松本 侃** (社)北海道建築士事務所協会副会長
 - 委員 **笠原成雄** (社)北海道建築士会常務理事

ARCHITECTURE DESIGN CONCOURS 2000



審査のポイント

- 高校生らしい若々しさとユニークさにあふれているか。
- 設計のコンセプトやデザインに魅力があるか。
- 四季を通じて公園の利用者に親しまれ、ロマンの丘にふさわしい案であるか。
- 実施設計に反映させ得るデザイン要素や提案が含まれているか。

このコンクールは、道民に愛され親しまれる公共建築物づくりを進めていくため、21世紀を担う建築技術者となる道内の工業高等学校に在籍する生徒の皆様から夢のあるユニークなアイデアを募集し、最優秀作品の設計主旨やデザイン主旨を設計に反映することとしており、平成8年度から実施され、今回で5回目を迎えました。

今回は、函館市亀田中野地区に四季をとおして樹木や草花、小川等とふれあうことのできる野外レクリエーションの場として、眺望の良い津軽海峡に面した小高い丘陵地に整備を進めている「道南圏道立広域公園」内の「津軽海峡を望むロマンの丘」に建つあずまや（休憩所）を課題としてデザインを求めた結果、多くの個性的な作品が寄せられました。

審査にあたっては、

- ◎高校生らしい若々しさとユニークさにあふれているか。
- ◎設計のコンセプトやデザインに魅力があるか。
- ◎四季を通じて公園の利用者に親しまれ、ロマンの丘にふさわしい案であるか。
- ◎実施設計に反映させ得るデザイン要素や提案が含まれているか。

を審査のポイントとし、熱心に論議した結果、最優秀作品1点、優秀作品3点、佳作4点等を選定いたしました。

最優秀作品賞に選出された佐藤信也君、岸井伸行君、亀田樹理さんの3名のグループによる作品は、「鳥の丘」というカモメをイメージした作品で、やや閉鎖的ではという意見も出ましたが、実施設計のなかで調整可能であり、カモメのイメージがわかりやすく創造性豊かな高校生らしい若々しさにあふれる作品と高い評価を得ました。

優秀作品賞の阿部智花さんの作品は、函館市の木であるイチイの木をモチーフにし、らせん階段を上る展望台を兼ねたデザインの楽しさと冬期などの利用にシャッターをおろすことができるように工夫されている点などが評価されました。

優秀作品賞の大山育世さんは、函館亀田地区の伝統の「亀田型農家住宅」から茅葺屋根によるあずまやをデザインしてくれました。古くて新しい伝統のもつ重みとあたたかさを感じられる作品が斬新でした。

優秀作品賞の佐藤弘康君、飛世智美さんのグループ作品は、海をモチーフにし波のイメージが兎事に表現されている個性豊かな作品と評価されました。

このほか、佳作や惜しくも入賞されなかった作品の中にも見るべきアイデアや提案があり、予定していた各賞に加え特別奨励賞7点を贈ることとなりましたが、選からもれることになった作品にも高校生らしいアイデアを盛り込んだ力作がたくさんあったことをお断りしておきます。

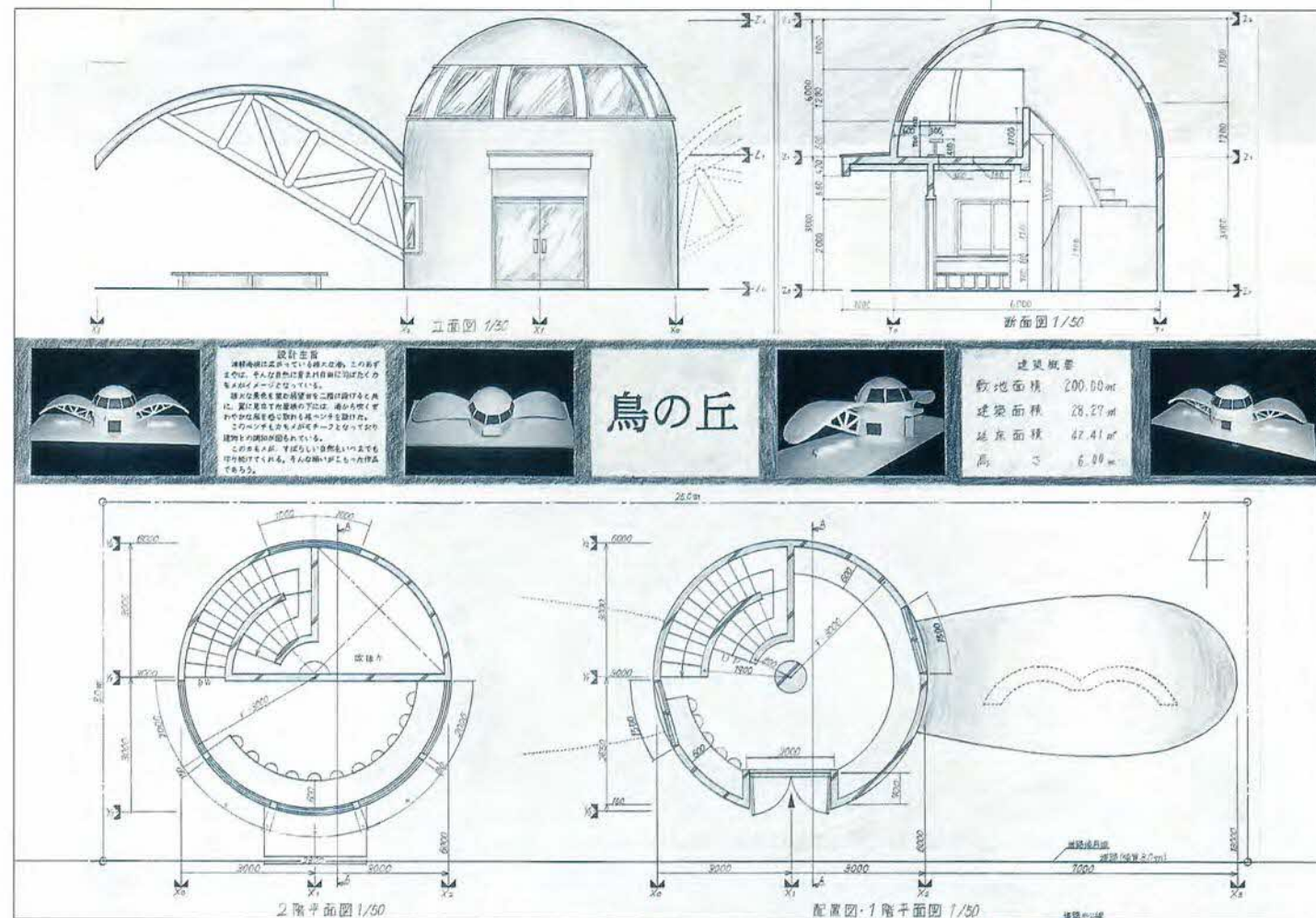
今回の課題である公園のあずまや（休憩所）は、小さな建築物ですが、周辺環境、利用者の想定、人数、他の利用者との関係等、多様な要因をコンパクトにまとめなければならないことから、難しい課題であったと思います。

応募された作品は、それぞれによく考えられ工夫されており、建設地の地域イメージをモチーフにした柔軟で豊かな創造性にたいへん感心しました。

今回の審査にあたり、建築を志す若い方々の熱意と可能性に触発されるとともに、北海道の21世紀を託す建築技術者の建築デザイン能力の水準の高さを強く感じることができました。

最優秀作品賞

ARCHITECTURE DESIGN CONCOURS 2000



	<p>設計主旨 津軽海峡に広がっている雄大な海。このあずまやは、そんな自然に生まれ自由に羽ばたくカモメがイメージとなっている。雄大な景色を望む展望台を二階に設けると共に、翼に見立てた屋根の下には、海から吹くさわやかな風を感じ取れる様ベンチを設けた。このベンチもカモメがモチーフとなっており、建物との調和が図られている。このカモメが、すばらしい自然をいつまでも守り続けてくれる。そんな願いがこもった作品であろう。</p>	<p>鳥の丘</p>	<p>建築概要 敷地面積 200.00㎡ 建築面積 28.27㎡ 延床面積 47.41㎡ 高さ 6.00m</p>	
--	---	-------------------	---	--

北見工業高等学校(3年)
佐藤 信也 Sato Shinya
岸井 伸行 Kishii Nobuyuki
亀田 樹理 Kameda Jyuri

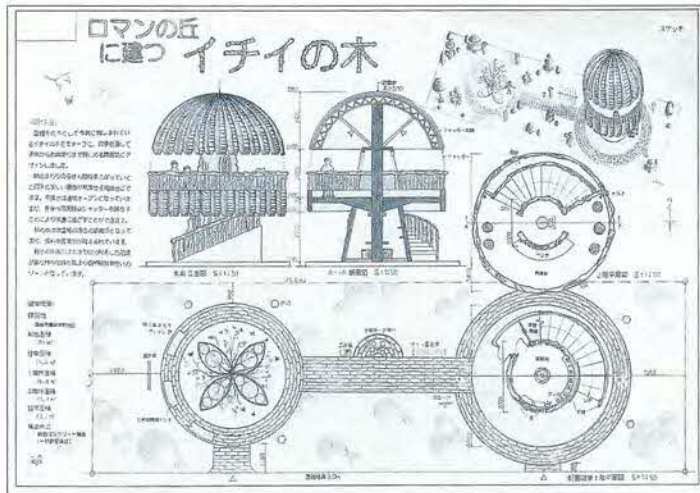
設計主旨
 津軽海峡に広がっている雄大な海。このあずまやは、そんな自然に生まれ自由に羽ばたくカモメがイメージとなっている。雄大な景色を望む展望台を二階に設けると共に、翼に見立てた屋根の下には、海から吹くさわやかな風を感じ取れる様ベンチを設けた。このベンチもカモメがモチーフとなっており、建物との調和が図られている。このカモメが、すばらしい自然をいつまでも守り続けてくれる。そんな願いがこもった作品であろう。

平成12年度高校生建築デザインコンクール選定委員会委員長
 北海道建設部建築整備室建築課長

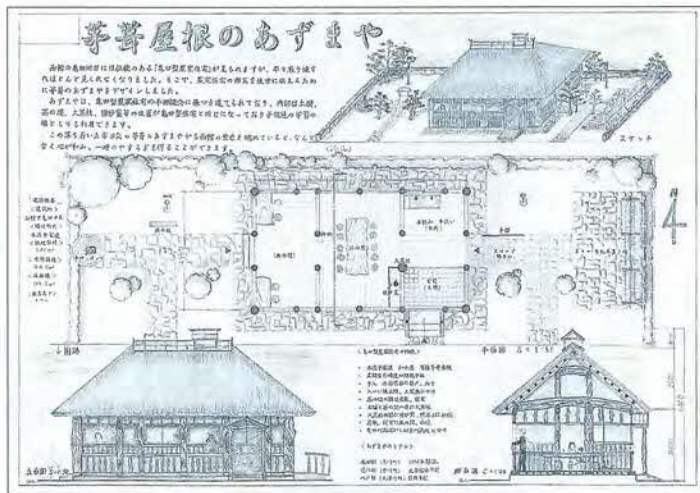
三浦 久志

入賞作品

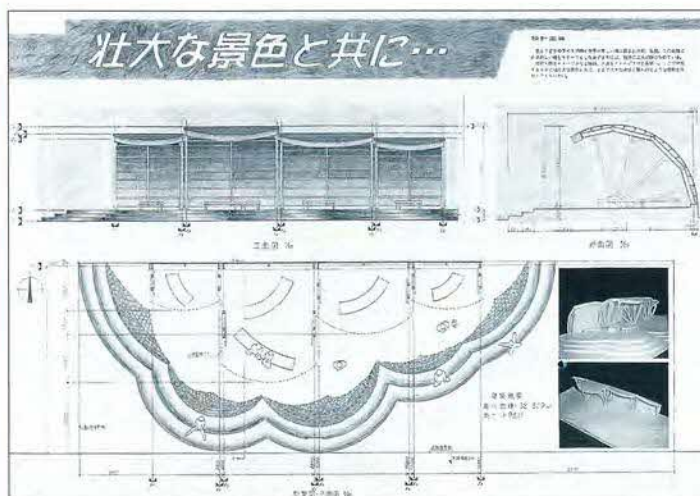
優秀作品賞



函館工業高等学校(2年)
阿部 智花 Abe Chika



函館工業高等学校(2年)
大山 育世 Ooyama Ikuyo



北見工業高等学校(3年)
佐藤 弘康 Sato Hiroyasu
飛世 智美 Tobise Tomomi

設計主旨

函館市の木として市民に親しまれているイチイの木をモチーフに、四季を通して子供からお年寄りまで親しめる雰囲気デザインしました。幹のまわりのらせん階段を上がっていくと四季の美しい景色が見渡せる見晴台にできます。見晴台は通常オープンとなっていますが、冬季や雨天時はシャッターを降ろすことにより快適に過ごすことができます。幹の中は吹雪等の場合の避難所となっており、食料や医薬品が備えられています。敷地の中央には大きな蝶の形をした花壇があり様々な蝶が集まり自然観察兼憩いのゾーンとなっています。

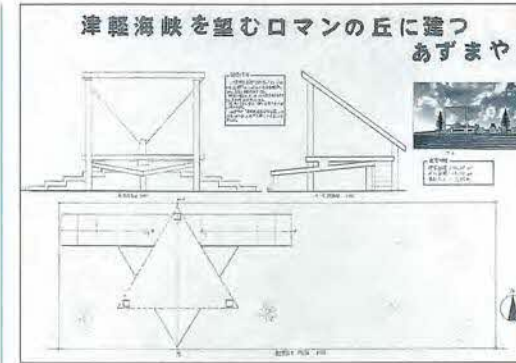
設計主旨

函館の亀田地区には伝統のある「亀田型農家住宅」が見られますが、年々取り壊されほとんど見られなくなりました。そこで、農家住宅の形式を後世に伝えるために茅葺のあずまやをデザインしました。あずまやは、亀田型農家住宅の平面概念に基づき建てられており、内部は土間、茶の間、大黒柱、囲炉裏等の位置が亀田型住宅と同じになっており子供達の学習の場としても利用できます。この落ち着いた雰囲気のある茅葺のあずまやから函館の景色を眺めていると、なんとなく心か和み、一時のやすらぎを得ることができます。

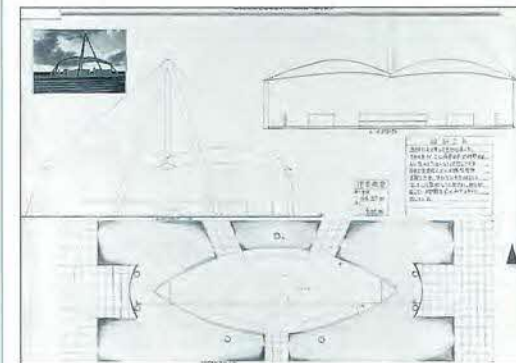
設計主旨

色とりどりのライトが瞬く夜景が美しい海に囲まれた街、函館。この函館にふさわしい海をモチーフとしたあずまやには、随所に工夫が設けられている。波打ち際をイメージさせる階段、大波をイメージさせる屋根……。ここで休憩する人々には、壮大な景色と共に、まるで、大きな津波に襲われるような感動を味わってもらいたい。

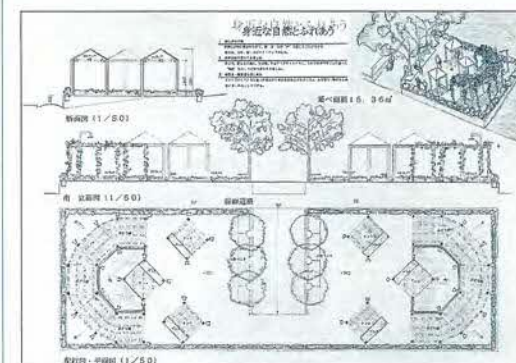
佳作



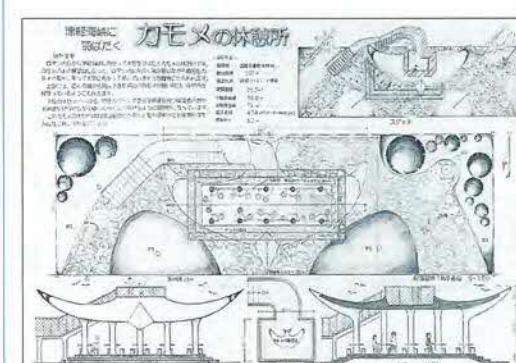
札幌工業高等学校(3年)
鈴木 俊平 Suzuki Syunpei



札幌工業高等学校(3年)
木幡 茜 Kohata Akane



札幌工業高等学校(2年)
世羅 仁 Sera Hitoshi



函館工業高等学校(2年)
芳賀 妙子 Haga Taeko

設計主旨

この建物を設計するに当たってイメージしたのは、函館市のシンボルである五稜郭。それと大空に輝く星々です。階段を昇ると、そこは360度見渡す限りの大空が広がっています。また、夜になると空は、きれいな星々がいっぱい輝きます。この建物で「道内園道立広域公園」の四季それぞれの自然を感じとってほしいと思います。

設計主旨

曲線による美しさを形に表した。カモメをイメージし、あずまやで休憩する人に丘の上たということを感ぜさせず、まるで空を飛んでいる様な感覚を起こさせ、まわりに水をはることで、そこに空がうつさされ、自分が立っている空間を広くみせる形になっている。

設計主旨

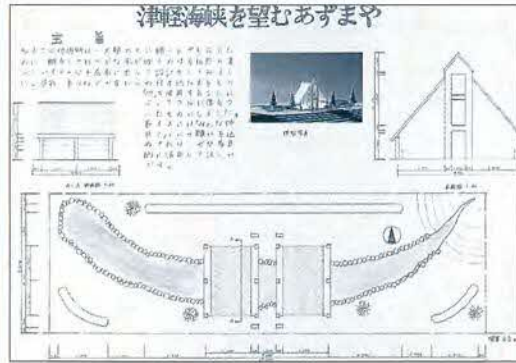
1. 安らぎの空間
豊潤な自然に囲まれながら、樹・花・水の“声”を感じることができる。
夜には、小屋・樹・水がライトアップされる。
2. 四季の移り変わりを楽しむ
春は花、夏は水の流れ、秋は樹、冬はアイスキャンドルと、それぞれの季節ごとに違った“個性”を出しその移り変わりを楽しむ。
3. 健常者・障害者も楽しめる
スロープからそれぞれ違った視点から見える景色に子供から大人・お年寄り・障害者も満足に楽しめることができる。

設計主旨

ロマンの丘から津軽海峡に向かって大空を羽ばたくカモメの休憩所です。カモメの上の展望台に立つと、ロマンの丘を吹く風を感じながら自分もカモメの背中に乗って大空に向かって飛んでいきそうな錯覚にとらわれます。上空には、近く海から飛んできた沢山のカモメが舞い飛び、休憩所を見守っているようにもみえます。1階の休憩スペースは、野原のゾーンで遊ぶ子供達を待つ保護者の方が子供達を見守りながらゆっくりとくつろげるように開放的になっています。このカモメの休憩所は広域公園のシンボルとなり子供からお年寄りまでみんなに親しまれるでしょう。

入賞作品

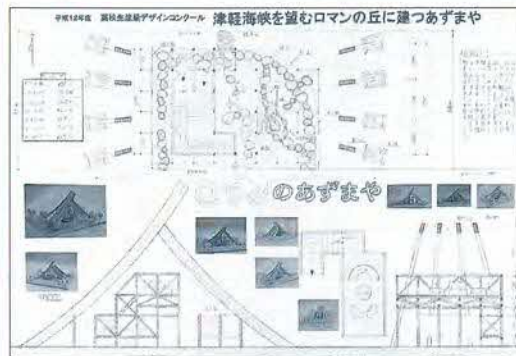
特別奨励賞



札幌工業高等学校(3年)
佐々木 美光子 Sasaki Mituko

設計主旨

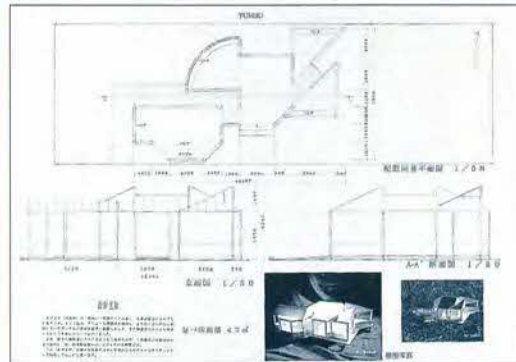
私のこの休憩所は、大勢の人に親んでもらうために、明るくさわやかな風がふきぬける北国の夏らしいイメージを前面に出して設計をしてみました。色彩、香りなどで変わらぬ日本的な美をもつ「竹」を使用することによってさらに落ちついたものにしました。長イスには「みんな仲良く」という願いを込めており、ぜひ多目的に活用してほしいです。



美唄工業高等学校(2年)
片野 伸吾・加藤 脩
Katano shingo Kato Osamu

設計主旨

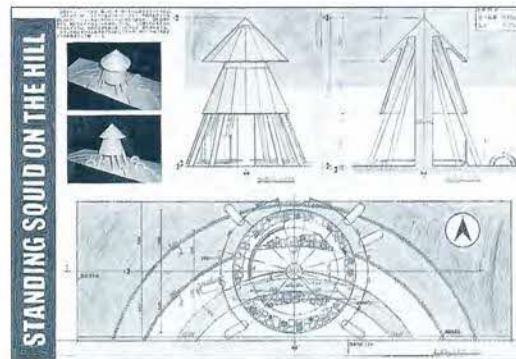
朝は津軽海峡、夜は美しい夜景と星空が望めるように展望台を付けてみました。あずまやの外観は、支えあう人の文字をイメージし周りの環境にあわせて木材を多く使用し、色の方も緑や茶系をベースに大きな木をイメージし設計してみました。



名寄光凌高等学校(3年)
斉藤 裕也 Saito Yuya

設計主旨

あずまや(休憩所)は一般的に一部屋のものが多く、先客が居ると入りづらいものです。そこで私は、そのような問題を解消し、よりたくさんの人に利用していただくために部屋を数多く設置しました。また障害者の人々にも利用してもらうためにスロープをつけました。また、数学の教科書に出てくるような三角形や台形、三角錐などを組み合わせて設計し、唯一四角形は使わないようにしたのも特徴です。この「あずまや」を様々な年齢の方々に住宅のようなイメージでリラックスして利用してほしいと思います。

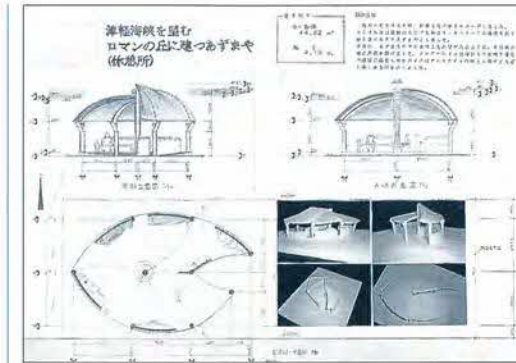


北見工業高等学校(3年)
中嶋 毅・西 晃児・檜山 太一
Nakajima Tsuyoshi Nishi Koji Hiyama Taichi

設計主旨

函館をイメージしたとき、真っ先に思い描くものは名産品のイカである。この誰もが思い描くことのできるイカをモチーフとし、今回のあずまやは設計された。ロマンの丘にそびえるイカに内包されながら、望む函館の景色は、格別なものとなることを確信している。この誰もが居ることのできるあずまやは、自然のままを感じることができ、安らぎを与える。ロマンの丘にそびえるあずまやを訪れる人たちが、再びこの地このあずまやを利用するようお願いしている。

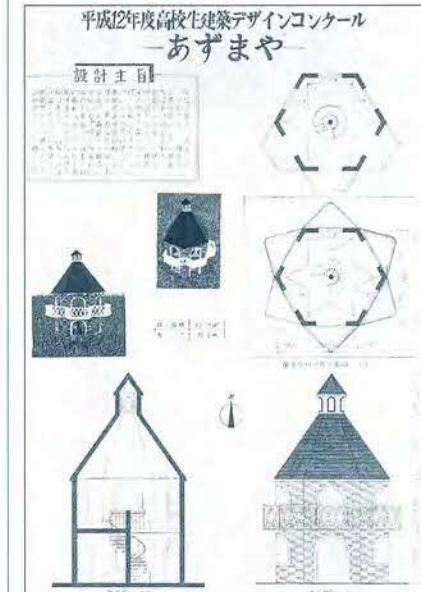
特別奨励賞



北見工業高等学校(3年)
石田 成人・石川 雄・加藤 祥史
Ishida Naruhito Ishikawa Takeshi Kato Yoshifumi

設計主旨

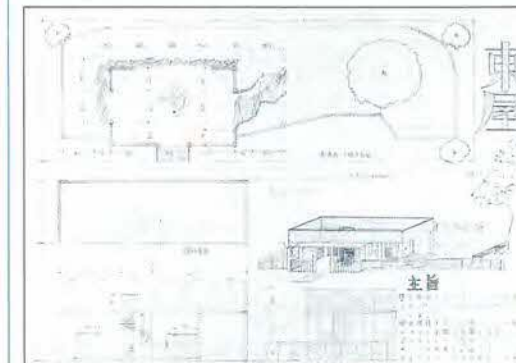
函館の町を考えた時、新鮮な海の幸をイメージしました。そこで私たちは函館の名物でもあるカニをモチーフに屋根を創り柱を足にみだてあずまやとしました。天井は、あずまやの中心までこもればいれるように、各屋根の境に天窗を設けました。フロアーのイスは海からの生物を進化の過程に配置し中央のイスはアンモナイトの柱とし親子ともども楽しめる作りをしました。



帯広工業高等学校(3年)
濱口 亜由美 Hamaguchi Ayumi

設計主旨

函館は開拓の頃から洋風の建築物が多く、その街並みは洋風の似合う街。この公園は豊かな自然に恵まれていて、色々な施設もあるので子どもも沢山来ると考えられます。洋風で夢とロマンのある「森の中の小さなお城」をテーマに、そして綺麗な夜景も楽しめるよう、二階にはバルコニーを設けました。また、函館で有名なのは5つの稜堡を持った郭と独立した堡からなる五稜郭。5つの稜堡と独立した1つの堡を合わせると6になるので、床のデザインを六角形にしました。



苫小牧工業高等学校(3年)
江島 恒樹 Eshima koki

設計主旨

壁を棚のようにすることで、風や太陽の光をたくさん取り入れられるようにしました。螺旋階段を上り二階のテラス部分に上がると、函館の綺麗な景色などが一望できるように設計しました。周りには、家族みんなでゆっくり休めるようにベンチを配置しました。

平成12年度高校生建築デザインコンクール応募者一覧

札幌工業高等学校
(17作品17名)

金光谷和也(3年)
石岡恵里(3年)
中川伸夫(3年)
木幡 茜(3年)【佳作】
四ツ谷武(3年)
石山由紀恵(2年)
寺田義和(3年)
丸山 央(3年)
世羅 仁(2年)【佳作】
鈴木俊平(3年)【佳作】
佐々木美光子(3年)【特別奨励賞】
梅崎 務(3年)
埜瀬美和子(3年)
藤田 翔(3年)
玉川 学(3年)
舟山靖人(3年)
宇夫伸一(3年)

函館工業高等学校
(7作品7名)

阿部智花(2年)【優秀作品賞】
大山育世(2年)【優秀作品賞】
芳賀妙子(2年)【佳作】
福士 舞(2年)
沼田 望(3年)
松田春菜(3年)
加藤 寿(4年)

小樽工業高等学校
(1作品1名)

宿院明裕(3年)

美唄工業高等学校
(1作品2名)

【特別奨励賞】(2名グループ)
片野伸吾(2年)
加藤 脩(2年)

旭川工業高等学校
(1作品1名)

鈴木元太(3年)

名寄光凌高等学校
(17作品17名)

伊藤誓師(3年)
渡辺奈津樹(3年)
山形祐也(3年)

村山誠一(3年)
伊豆倉広之(3年)
蓑島秀之(3年)
新田英二(3年)
戸嶋寛勝(3年)
高野裕則(3年)
関谷広一(3年)
鈴木征志(3年)
鈴木俊宏(3年)
佐藤翔吾(3年)
斉藤裕也(3年)【特別奨励賞】
黒川修史(3年)
九町大介(3年)
嶋崎景亮(3年)

北見工業高等学校
(5作品14名)

【特別奨励賞】(3名グループ)
中嶋 毅(3年)
西 晃児(3年)
檜山太一(3年)
【特別奨励賞】(3名グループ)
石田成人(3年)
石川 雄(3年)
加藤祥史(3年)
【最優秀作品賞】(3名グループ)
佐藤信也(3年)
岸井伸行(3年)
亀田樹理(3年)
(3名グループ)
森元雄也(3年)
小中信二(3年)
荒川晃司(3年)

【優秀作品賞】(2名グループ)

佐藤弘康(3年)
飛世智美(3年)

帯広工業高等学校
(2作品2名)

濱口亜由美(3年)【特別奨励賞】
岩佐真有(3年)

室蘭工業高等学校
(1作品1名)

大友順子(3年)

苫小牧工業高等学校
(5作品5名)

小澤春助(3年)
桑田絵理(3年)
田口貴章(3年)
鈴木千尋(3年)
江島恒樹(3年)【特別奨励賞】

留萌千望高等学校
(2作品2名)

阿部久宗(3年)
檜森 雅(3年)

計—59作品(69名)

●高校別応募作品数一覧

高校名	H12応募作品数
札幌工業高等学校	17
函館工業高等学校	7
小樽工業高等学校	1
美唄工業高等学校	1
旭川工業高等学校	1
名寄光凌高等学校	17
北見工業高等学校	5
帯広工業高等学校	2
室蘭工業高等学校	1
苫小牧工業高等学校	5
留萌千望高等学校	2
計	59

ARCHITECTURE
DESIGN CONCOURS
2000

高校生建築デザインコンクール

発行/北海道建設部建築整備室計画調整課
札幌市中央区北3条西6丁目
TEL.011-231-4111 内線29-863

印刷/興国印刷株式会社 平成13年2月発行